

北上市地域商業ビジョン取組総括表(H25～H27)

基本方針【1】 消費者ニーズに対応した商店・商店街の形成と賑わいづくり	評価		成果と課題	今後の方針
	取組状況	効果		
①商店街強化プロジェクト	B	C	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街巡回により、市内商店街組織の状況を概ね把握することができたが、組合員・会員の減少、高齢化及び後継者不足等から商店街組織の力は弱まっており、活性化を図ろうという意欲を失っていると思われる組織も多々ある。なお、平成25年度末には、中央通り商店会（青柳町）が解散している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップの設置・運営や空き店舗改修費用補助金の創設により、若者や女性の出店を推進することで商店街の新陳代謝を図り、活性化につなげていく。 ・商業集積エリアを中心とした商店街においては、外国人旅行者の消費を呼び込むため、免税店化や無料公衆無線LANの整備を推進していく。
②個店経営強化プロジェクト	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が新規事業の展開で経営支援の強化を図っており、期待されている小規模事業者への伴走型支援が実現されてきている。 ・プロジェクト推進上、各商店の課題・ニーズ等を把握することは必須であるが、そのための事業である商い訪問応援事業（個店訪問）について、未だ実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個店支援は、商工会議所に頼る部分が多くなるが、商い訪問応援事業（個店訪問）の実施により、市としても積極的に各商店の課題・ニーズ等の把握に努め、市制度融資の改善や商工会議所事業への提言により、事業の精度を高めていく。
③賑わいづくり促進プロジェクト	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度、26年度においては、緊急雇用対策事業や商店街組織が少ない自己負担で活用できる国の補助事業があり、多くのイベントが商業集積エリアで実施され、賑わいづくりが図られた。しかし、それが各商店の売上げにつながったかは疑問が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も補助事業を上手に活用し、賑わいや誘客につながるイベント等が実施されるよう支援を行っていく。一方で、それが各商店の売上げにもつながるような様々なアイデアを提案していく。

基本方針【2】 交流・連携による地域内消費の拡大	評価		成果と課題	今後の方針
	取組状況	効果		
①地域連携推進プロジェクト	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・あぐり夢くちない街なか産直は、路面店に生鮮食品のお店が無い本通り商店街の弱点をカバーし、商店街への誘客につながっている。 ・地域連携による取組みが増えていないことから、商店街組織及び地域組織の両面から取組みを働きかける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の商店街振興事業補助金について、地域との協働により地域内経済の循環を推進する取組みの場合には、補助限度額を増額できるよう、交付要綱の改正を検討する。
②産業連携推進プロジェクト	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に北上市産業連携推進会議が組織され、具体的な取組みが協議・提案される体制が整った。 ・ワクワクまちなかプロジェクトは、商業と工業の新しい連携の形であり、また、多くの高校生らも協力する興味深い事業となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携先とのWin-Winの関係を意識しながら、連携事業の提案やマッチング等を行っていく。
③団体等連携推進プロジェクト	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一店逸品運動の「きたかみ逸品研究会」は、商店街組織のような「地縁」では無く、志を同じくする「志縁」による新しい商業組織であり、今後の商業振興の起点となることを期待している。 ・プレミアム商品券発行事業は、地域経済の活性化に貢献したものと考えられるが、平成27年度実績で、生活防衛型の利用が6割、大型店での利用が7割となっており、より大きな経済効果を生むためには何らかの工夫が必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きたかみ逸品研究会については、既存会員や商工会議所と連携を取りながら、会員の増加と活動の活性化を図っていく。 ・連携先とのWin-Winの関係を意識しながら、連携事業の提案やマッチング等を行っていく。 ・プレミアム商品券発行事業については、次回の発行に向けて、27年度に実施された全国の事例を調査しておく。

基本方針【3】 地域課題解決に向けたコミュニティビジネスの推進	評価		成果と課題	今後の方針
	取組状況	効果		
①組織体制強化プロジェクト	B	C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源活用施設設置支援補助金は、黒岩自治振興会のコミュニティビジネスの継続に大いに貢献したと考えられるものの、コミュニティビジネスにおいて事業のための固定資産の取得はハードルが高く、他に補助金を活用する組織が出てきていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源活用施設設置支援補助金について、事業のために施設等を賃貸する場合の賃借料に対して補助できるように交付要綱の改正を検討する。 ・地域おこし協力隊を活用し、よそ者の視点から地域資源の発掘や商品化のアイデアを提案いただき、ビジネス化を図っていく。
②販路拡大推進プロジェクト	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大を図るため、商談会・物販イベント等へ出展する場合の出展負担金等の経費に対する補助制度の創設を検討する。

基本方針【4】 地域における買い物環境の充実	評価		成果と課題	今後の方針
	取組状況	効果		
①地域応援プロジェクト	B	C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりや定住促進のために幅広く使える交付金・補助金で買い物困難地域支援のためには一切使われていない。まずは、買い物困難地域と思われるエリアの住民の買い物事情を把握する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地域を設定し、地域づくり組織や交流センター等との連携により、買い物実態調査を実施したい。
②情報発信プロジェクト	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で宅配サービス等を行う企業、地元商店等の調査を行い、冊子にまとめ、日常の買い物に不便をきたしている方に配布する。

基本方針【5】 安全・安心な商業環境の整備	評価		成果と課題	今後の方針
	取組状況	効果		
①商業環境整備プロジェクト	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度、26年度においては、商店街施設の整備・撤去に使える国の補助事業があり、市の補助制度との併用が可能であったことから、老朽化した商店街アーケードの改修・撤去が進み、安全で快適な商業環境整備が図られた。また、同じ補助制度により、商店街照明灯のLED化も進み、電気料の支払いに苦慮していた商店街組織の運営が楽になるとともに、市の電気料交付金の負担も軽くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街照明灯のLED化が進んでいない商店街組織がまだあり、市の補助制度により商店街照明灯の完全LED化を図る。

※評価・・・取組状況 A: 十分な取組みができたもの B: 一定の取組みができたもの C: 取組みが不十分なもの、未実施のもの
 効果 A: 十分な効果があった(期待される)もの B: 一定の効果があった(期待される)もの C: 効果が限定的なもの、効果が出ていないもの

商業振興の指標と目標

項目	現状値	中間目標値	実績値	目標値
		平成 27 年度	平成 27 年度	平成 32 年度
地元購買率 <small>(消費購買動向調査)</small>	93.8% <small>(H20 年度)</small>	95.0%	84.8% <small>(H27 年度)</small>	97.0%
中心市街地の平日歩行者数 (自転車含む) <small>(北上市交通量調査)</small>	1,805 人 <small>(H23 年度)</small>	2,300 人	1,764 人 <small>(H27 年度)</small>	2,500 人
市内 5 商店街振興組合の年間商品販売額 <small>(商業統計調査)</small>	116 億円 <small>(H18 年度)</small>	120 億円	89 億円 <small>(H25 年)</small>	125 億円
市内卸・小売業の年間商品販売額 <small>(商業統計調査)</small>	2,305 億円 <small>(H18 年度)</small> <small>※参考</small> 2,020 億円 <small>(H23 年)</small>	2,400 億円	2,155 億円 <small>(H25 年)</small>	2,500 億円

- ※①「中心市街地歩行者数」は北上市が毎年行う交通量調査で、本通り二丁目（岩銀北上支店前）、新穀町一丁目（旧菊池屋旅館前）、芳町 1 番（北上市役所東側）の 3 地点の上下平均値です。
- ②「消費購買動向調査」は岩手県が 5 年に 1 回実施しているものです。（H27 年度は市調査による）
- ③「商業統計調査」は経済産業省が実施するものです。